

障がい者用災害ベストを作成しました

～全ての障がい者に対応可能なベストの完成～

○作成の経緯、見込まれる成果

狛江市では、これまで災害時に視覚障がい者、聴覚障がい者が避難する際に周囲の人に自分の存在を知ってもらうためのベストを作成してきました。

しかし、災害時に避難するにあたり、上記の障がいのある方以外にも支援を必要とする人が沢山いることから、平成28年度より狛江市避難行動要支援者支援検討委員会（委員に当事者である障がい者を含む）で、障がい者誰もが使える汎用型の障がい者用災害ベストの開発・検討を行い、この度完成しました。

今回のベストで全ての障がい者用の災害ベストが揃いました。これにより、災害時にはどなたが障がいのある方で支援を必要としているかが誰の目にも一目でわかるようになります。障がい者の方への支援が行いやすくなることは、被災者全体への支援も効率よく行えることとなります。さらには、障がいを持っていることが伝わらなかったがための、周りの被災者との揉め事などを防止する役割も果たせます。



- 開発メンバー 狛江市避難行動要支援者支援検討委員会（18名）
- 開発期間 平成28年度（1年間）
- 製作費 788,400円（税込み）
- 対象者 障害者手帳をお持ちの方
- 配布開始日 平成29年9月1日
- 配布予定枚数 200着
- 配布方法 窓口にて配布
- 周知方法 広報こまえ9月1日号、市ホームページ等で周知

問い合わせ

狛江市福祉保健部地域福祉課長 岡本
03-3430-1240（直通）

■障がい者用災害ベスト一覧

ベストの種類 配布開始日	製作枚数	特徴
<p>視覚障がい者用 (平成 27 年 3 月 2 日)</p>	<p>150 着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腹部に大きなポケットが2つ。 ・ペットボトル(650ml)などが入る大きなポケットとチャック付き。 ・色は蛍光色で目立つ黄色。
<p>聴覚障がい者用 (平成 27 年 12 月 1 日)</p>	<p>180 着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発語が困難な方が多いため、笛とライトが付属品としてついている。これにより自身の居場所を周囲に知らせることができる。 ・聴覚障がい者自身や周囲の人が手話をできない場合、意思疎通を取るため、手帳と手帳専用のペンを付属品とした。手帳はホワイトボードのようになっていて、手帳専用のペンで書いたり消したりすることができる。 ・色は濃い青。
<p>障がい者用 (平成 29 年 9 月 1 日)</p>	<p>200 着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚・聴覚障がい者以外の障がい者全般に対応するベストにするため、今までのベストにあるような特徴を取り除いている。 ・色は蛍光色で目立つ緑色。 ・視覚・聴覚といった限られた障がい者ではなく、それ以外の障がい者全般に対応するベストなので配付枚数は当然多くなることも見込まれたため、上記の2種類と違ってオーダーメイドではなく、既製品を加工して作成することにより制作費を抑制した。